

おおたの教育

第113号

大田区教育委員会広報

平成24年(2012年)
10月1日発行

今号の主な内容

- 1面 おおた未来プラン10年の取り組み
- 2面 学校長被災地視察
- 3面 生涯学習の紹介
- 4面 第29回大田区区民スポーツまつり

発行/大田区教育委員会 〒144-8623 大田区蒲田五丁目13番14号 TEL.03-5744-1111(代表) HP <http://www.city.ota.tokyo.jp/kyouiku>

未来を担う子どもたちを育てるために

おおた未来プラン10年の取り組み

区は、20年後の大田区が目指すべき将来像や区政運営の基本となる考え方をまとめた「大田区基本構想」の実現に向け、今後10年間に取り組むべき計画として「おおた未来プラン10年」を平成21年3月に策定しました。教育分野については、10年後の目指す姿を「学校・地域・家庭が手を携えて、子どもたちの「生きる力」を育てています」としており、「10年後の目指す姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ（指標）と目標値」を以下のように設定して、実現に向けた取り組みを進めています。教育に関する取り組みの現状についてご紹介します。

モノサシ（指標）	計画策定時	平成24年度	目標	
			平成25年度	平成30年度
大田区学習効果測定【中3数学・期待正答率を超えた生徒の割合】（%）	58.3%	61.9%	60.0%	62.0%
不登校生徒出現率【中学校】（%）	3.73%	3.28%	3.43%	3.23%
体力調査・50m走【小6男女】（秒）	男子(8.96秒) 女子(9.24秒)	男子(8.90秒) 女子(9.22秒)	男子(8.91秒) 女子(9.19秒)	男子(8.86秒) 女子(9.14秒)

※不登校生徒出現率は前年度実績数値です。

【大田区学習効果測定】

大田区では、児童・生徒一人ひとりの基礎的・基本的な学習内容の定着状況を把握するため、区立学校に通うすべての小学校4年生から中学校3年生を対象に、大田区学習効果測定を平成20年度から毎年実施しています。

今年度は、4月25日に実施しました。小学校では国語と社会、中学校では社会と英語が全学年において、前年の「期待正答率を超えた児童・生徒の割合」を上回りました。

また、「モノサシ（指標）」である「中学校3年生数学・期待正答率を超えた生徒の割合」は、平成25年度の目標値である60%を早くも超え、61.9%という結果でした。このことは、学力向上に向けた各校の取り組みの成果の表れと考えています。

今後も児童・生徒の学力向上に向け、継続した取り組みを進めていきます。

平成24年度 大田区学習効果測定の結果

【期待正答率を超えた児童・生徒の割合（%）〔カッコ内は前年度〕】

	小学校（60校）			中学校（28校）		
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年	第3学年
国語	67.8% (64.2%)	77.0% (75.0%)	79.8% (77.2%)	76.7% (62.5%)	67.7% (70.0%)	69.0% (64.2%)
社会	78.0% (48.1%)	74.5% (67.6%)	72.5% (49.7%)	65.2% (39.1%)	52.0% (33.6%)	45.6% (36.6%)
算数 数学	78.5% (78.6%)	70.4% (81.1%)	74.7% (76.7%)	76.7% (64.1%)	59.1% (61.1%)	61.9% (59.6%)
理科	73.4% (75.5%)	67.6% (63.5%)	69.2% (61.9%)	62.2% (72.5%)	51.3% (38.3%)	41.1% (45.8%)
英語					68.5% (60.5%)	63.7% (61.6%)

【不登校生徒出現率】

平成23年度実績の中学校不登校生徒の出現率は3.28%であり、「モノサシ（指標）」における平成25年度の目標値3.43%をすでに達成しています。

不登校への対応については、6月、11月に小学校4年生以上の全ての児童・生徒に学校生活調査を実施し、その結果を基に面談を実施しています。また、生活指導主任会において、各学校の対応状況や効果的な取り組みについての情報交換を行い、各校の指導に生かしています。さらに、不登校児童・生徒の個別適応計画書の作成、ケース会議の開催、教育センターとの連携、適応指導教室「つばさ」・相談学級（大森二中、御園中）への通室・通級、スクールカウンセラーの活用、家庭へのメンタルフレンドの派遣、教員対象の教育相談研修会の実施などに取り組んでいます。

【体力調査・50m走】

平成24年度の調査結果では、小学校6年生50m走（男子）が8.90秒であり、「モノサシ（指標）」における平成25年度の目標値8.91秒をきることができました。

本区では、体力向上プログラムを策定し、各学校において児童・生徒の体力向上を図るための取り組み（「一校一取組」や「一学級一実践」運動等）を積極的に実施しています。

さらなる学力向上に向けて

～児童・生徒一人ひとりの学びを支援する～

大田区立学校では、児童・生徒一人ひとりの学習状況を把握し、一人ひとりに応じた学習を支援するために、学習カルテの活用と学習カウンセリングの充実を目指しています。

学習カルテとは、大田区学習効果測定の結果や日常の学習内容の定着を把握するために、児童・生徒一人ひとりの学習状況を記録したものです。算数・数学のステップ学習のチェックシートや中学校における定期考査の結果なども学習カルテの一つです。

学習カウンセリングは、学習カルテを活用し、児童・生徒（保護者）との面談や日常的な助言を通して、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について助言・支援するものです。

学習カウンセリングでは次のような力を育むことを大切にしています。

●児童・生徒自らが課題に気づき、その解決に向けて努力する態度

●児童・生徒自らが次の目標を設定し、具体的な学習方法を計画する力
例えば、漢字の学習が課題であれば、「漢字をがんばる。」というだけでなく、「漢字ノートに熟語を毎日、10回ずつ書く。」など、実現できる具体的な学習計画を立て、それを継続していく力を育むことを大切にしています。

そのために、各学校では丁寧に面談を実施するとともに、学び方に対する日常的な助言の充実を目指しています。また、保護者の皆様に家庭学習への協力を呼びかけ、児童・生徒の学びを支援していただき、ご家庭とともに学力の向上を図っていきたく考えております。

～学力向上に向けた学校の取り組み～

学校と家庭が連携し、組織的・継続的に取り組む

萩中小学校長 小刀 稱 進



萩中小学校では、児童に学力を付けることを最優先課題として、3つの側面から取り組んでいます。

① 日課表の工夫

登校時から1時間目の始業時までの30分間を朝読書、朝学習（本校独自の漢字プリント102のステップ）などを毎日行う。

② 学習マニュアルの作成

挨拶、学習用具の点検、話の聞き方、発表の仕方、宿題などの学習のルール規律を「萩中小の学習マニュアル」として作成している。

③ 校内研究の実践

暗唱活動、スピーチ大会、お話し会、問題解決の学習など、国語や理科の研究で培った実践を全学年学級で行う。

児童が確実に学力を身に付けるためには、「分かる・楽しい授業」の実践や教師も子どもと同様に学ぶ姿勢を示すなど、組織的・継続的に全教員が共通の考えで家庭と連携しながら、学力向上に向けて取り組んでいくことが重要と考えています。

日常の積み重ねを大切に、共に学ぶ姿勢を育てる

貝塚中学校長 宮本 泰雄



貝塚中学校では、秩序ある日常の授業の積み重ねが学力向上の根幹であると考え、授業の規律の確立・維持を徹底しています。例えば、全教員で朝読書の指導にあたり、始業時から授業に集中できるように、落ち着いた学習環境を整えています。

また、体育祭や文化祭などの行事、部活動などを通じて、協力する心やコミュニケーション能力を育て、生徒相互、教員と生徒の信頼関係を深めています。その上で、聞く・話す・書く・読むといった学習の基礎を大切に、「学ぶ楽しさ」を感じ、「共に学ぶ態度や姿勢」を身に付ける指導を行っています。

さらに、土曜日や長期休業中や放課後の補充教室の実施、学習相談などとともに、授業研究を中心とした教員の実践的な研修を通して、「学ぶ意欲」を引き出す授業の工夫も行っています。

問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

学校長被災地視察

～災害に立ち向かうために～

区は、大田区総合防災力強化のための新たな取り組みの一つとして、区立小中学校を逃げ込む場所である「避難所」という位置づけから、災害へ立ち向かう場所としての「学校防災活動拠点」へと拡充させていくこととしました。

そのため、区立小中学校の各学校長等が東日本大震災の被災地である東松島市を訪問し、地震・津波などの自然災害への防災・減災意識の啓発や、地域の防災拠点施設としての学校の役割を考えるために視察を行いました。

東日本大震災(3.11)当日及びその後の校長としての対応や、東松島市の被災状況、避難所の開設・運営、地域の防災拠点施設としての活動状況、学校の教育活動復帰までの状況、東松島市立小中学校や瓦礫集積所等の現在の状況などを視察することで、児童・生徒の安全確保や災害時における地域防災拠点としての学校の役割などについて、理解を深めることができました。

本年4月に公表された「首都直下地震等による東京の被害想定」において、大田区は建物倒壊や火災、揺れによる人的物的被害が大きくなると想定されています。これらの被害を最小限に抑えるために、今年度は、馬込第三小学校、大森第六中学校の2校をモデル校として指定し、情報拠点・防災活動拠点・避難所拠点を併せ持つ地域の防災拠点のあり方について、今回の視察経験を生かし、検証・検討を進めていきます。



▲津波被害により使用不能となった中学校



▲視察先での研修会

問合せ 教育総務課 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

「おおたの子ども」ポスターの掲示

- 区教育委員会では、教育目標として、
- 「意欲をもって自ら学び、考え、行動する人」
- 「思いやりと規範意識をもち、社会の一員としての役割を果たす人」
- 「自らの可能性を伸ばし、未来を拓き地域を支える人」

の3つを掲げています。

将来を担う子どもたちが、健全に成長していくためには、地域の不断の見守り、教師の熱心な指導、保護者の温かい支え、そして本人の努力が必要です。また、常に目標や目的意識をもって、日々努力していくことで人は大きく成長します。

そこで、区立小中学校の各教室に、この教育目標をふまえた学校での子ども・教師・保護者のあるべき姿を示す「おおたの子ども」ポスターを掲示します。

皆がそれぞれの立場で、常にあるべき姿を意識しながら、その役割について責任をもって行動していくことが、健やかな子どもの育成につながるものと考えます。

問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

伊豆高原学園の再整備

大田区立伊豆高原学園改築・運営等事業がスタートします

伊豆高原学園(静岡県伊東市八幡野)は、区立の小中学校が移動教室を実施するための学校校外施設です。開設後、約半世紀が経過し、老朽化やバリアフリーなどの課題に対応するために再整備を行います。再整備にあたっては、星空観察をはじめとした日頃できない自然体験、伊豆高原ならではの体験学習等、学園としての機能の充実を図ります。

なお、本事業は改築と運営を一体とし、民間活力を導入する事業手法(PFI方式)を採用し、公募プロポーザルにより最も優秀な事業提案をした事業者が実施します。

事業を実施する事業者

伊豆高原学園PFI株式会社(代表企業 太平ビルサービス(株)、(株)竹中工務店、(株)グリーンハウスなどで構成する事業者グループが本事業を実施するために設立した特別目的会社)

事業の概要

◆今後の事業スケジュール

- 平成24年度～25年度 設計、解体準備、
- 平成25年度～26年度 旧施設の解体、改築工事実施
- 平成27年度～ 新伊豆高原学園の運営開始

※移動教室は平成26年度まで、伊豆高原学園付属施設(旧伊豆高原荘)で実施します。

◆主な施設構成

- 管理棟(食堂・多目的ホール、浴室等)
- 宿泊棟(児童宿泊室、引率室、バリアフリー室等)
- ビジターセンター(資料展示スペース、体育館)
- 創作棟(創作・調理スペース)
- その他(天文台などの体験学習支援施設)

学校が使用しない期間は、区民の方も利用できます

旅行やサークル活動を想定し、学校が使用しない期間(土日や夏休み期間、年末年始～4月初旬)は区民の方にもご活用いただけます。

問合せ 学務課校外施設整備担当 TEL 5744-1706 FAX 5744-1536

平成24年度

第1回小学生駅伝大会の開催

小学生の健康増進や、持久力をはじめとする体力向上の取り組みの成果を発表する場、スポーツ振興・児童同士の交流の場を設け、体力向上の機運を高めることを目的とした駅伝大会が行われます。

区立小学校5・6年生の男女各3名、計12名を1チームとして、平成24年度・平成25年度のどちらかに、各校1チームが参加します。(平成24年度は30校の参加となります。)

子どもたちが元気に走り抜ける姿を、ぜひ応援してください。

- ▼日時:平成24年12月26日(水) 第1部スタート 12:30
- 第2部スタート 13:30
- 第3部スタート 14:30

*10チームずつ、3回に分けて競技を行います。

▼場所:六郷橋緑地公園 特設周回コース(六郷土手駅下車 徒歩10分)

問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665

小中学校連合行事(展示会)の開催

区立小中学校の「児童生徒の豊かな情操を育む教育活動」の一環として、小中学校連合行事(展示会)を開催します。

平成24年度も下記の日程で、子どもたちの表現力の豊かな作品が数多く展示されます。

ぜひ会場にてご鑑賞ください。

展示会名	展示期間
小学校連合図工作品展	平成24年10月24日(水)～30日(火)
中学校連合美術作品展	平成24年11月9日(金)～15日(木)
小学校連合書写展	平成25年1月17日(木)～23日(水)
中学校連合書写展	平成25年1月25日(金)～31日(木)
中学校連合技術・家庭作品展	平成25年2月2日(土)～5日(火)
小学校家庭科作品展	平成25年2月7日(木)～12日(火)

▼会場:池上会館1階展示ホール

▼開場時間:午前9時～午後5時

*ただし、各最終日は午前中(12時まで)のみの展示です。

問合せ 指導課指導主事 TEL 5744-1435 FAX 5744-1665



本図はイメージ図のため、実際と異なる場合があります。

一人ひとりの学びから 生きがい・仲間づくり・地域参加 さらに 地域のつながりを広げるために ~生涯学習~

生涯を通して心豊かに暮らしていくために、自らの関心や必要に応じて学び、自分を高めていこうとする学習活動が生涯学習です。学習とは知識の習得だけではなく、スポーツや音楽、美術、工芸、文学などを通して感性や技を磨くことも挙げられます。

団体・サークルで同じ趣味や関心をもつ仲間と学び合うことによって、喜びや生きがいを感じることもあります。団体・サークル活動は人々の地域への参加・交流であり、かけがえのない仲間と出会う場にもなっています。また、団体同士が交流したり、学校や高齢者施設などでボランティア活動をすることもあり、子育てや教育、介護、健康、自然や歴史など地域の問題に関心を寄せ、学び、共に考え、よりよい地域づくりのために活動をしている団体もあります。さらに、趣味やライフワークとして個人で学習を続け、そこで得たものを地域の人へ伝えていくといった方もいます。

このような「生涯学習」をキーワードにした人々や団体相互のつながりは、地域をより充実させていくことができます。これらの事例として、いくつかの団体と個人の方をご紹介します。

社会教育関係団体と子どもたち



【小学校サマースクールと地域の陶芸サークル】
団体名：陶友会・陶新会

18年前、梶谷文化センターで生まれた二つの陶芸サークル「陶友会」と「陶新会」は、お互い協力しながら活動を続けています。新入会員にはベテラン会員が粘土の練り方から基礎的な器作りを指導し、その後は各自で思い思いの作品に取り組みます。

7年前、梶谷小学校からの依頼で、子どもたちに陶芸を教える取り組みが始まりました。「陶友会」と「陶新会」が協力して、毎年サマースクールとして、小学生に器の形づくりと絵付けを指導しています。素焼きや本焼きは、文化センターの窯で会員が行いますが、ひびが入って割れてしまわないよう、子どもたちに形作りをしっかりと教えます。子どもならではの形や絵柄が楽しい作品は、毎年10月に行われる梶谷文化センターまつりに展示されます。今では、子どもたちに陶芸を伝えることも重要な活動のひとつとなっています。



【地域を学び、次代に伝える】
団体名：六郷用水の会

地域遺産である六郷用水をテーマに、地域学を「楽しく、考え、伝える地域活動」を行っています。「自分たちの地域のことは自分たちで考える」をモットーに、活動的に会を運営しています。

六郷用水を未来に伝えるため、発足1年目には、『六郷用水完成400年シンポジウム』を開催しました。2年目には、小冊子『六郷用水ってなに?』など、小学生向けの六郷用水の資料を作成するとともに、『地域遺産「六郷用水・400年」を探る』と題した講座を実施し、会員が講師を務めました。発足以来、区内の小学校から会員がゲストティーチャーとして招かれ、4年生の総合学習として、「六郷用水」についての講座を行っています。3年目の現在、地域の人たちの六郷用水の思い出や語り継がれていることを「聞き書き」として冊子にまとめ、3月に発行する予定です。



【高齢者と子どもたちをつなぐ配食サービス】
団体名：NPO法人こぶしの会

「ずっとこの町で・この家でくらしたい」誰もが持つ願いを叶えるため、「出来ることを出来る範囲で」を合言葉にボランティア活動を行っています。

食事作りが困難なお年寄りの家などに夕食をお届けする「配食活動」、ご年配の方のふれあいの場として定期的に開催される「会食会」、土日、祭日以外は毎日開かれる「こぶしの家」(会員制のサロンで毎日当番の会員が昼食をご用意しています。)など、地域のふれあいをづくりのための活動を行っています。

近隣の中萩中小学校では、毎年5年生全員が総合的な学習として、「こぶしの会」の配食活動に参加し、地域とのつながりや思いやりの大切さを学んでいます。準会員としてその後も活動を続ける児童は、配食活動や会食会に参加し、お年寄りや会員とのふれあいを心から楽しんでいます。こうした地域へのふれあいの輪が、ますます広がっていくことが期待されます。



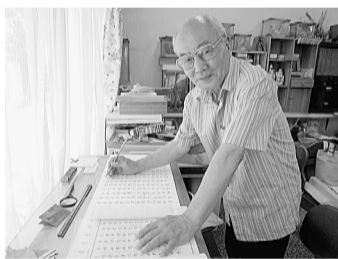
【お話の魅力を子どもたちに届ける】
団体名：だんご虫お話の会

「だんご虫お話の会」は、1991年に朗読を学習するサークルとして発足しました。会員は、男性1人を含む12名。40代から80代と幅広い年齢層で構成されています。

現在の活動は月に2回で、「自主勉強会」と、講師を招いての「学習会」を行っています。そのほか、ボランティア活動として、大田区内外の小学校、保育園、幼稚園、児童館からの依頼に応じて、年間30回ほど「お話し会」を開いています。2004年には、その活動が認められ、朗読文化研究所主催の「朗読文化実績賞」を受賞しました。昨年の夏休みには、東日本大震災で被災された相馬市の子どもたちへの読み聞かせの依頼を受け、お話し会を2回開催し、喜んでいただきました。

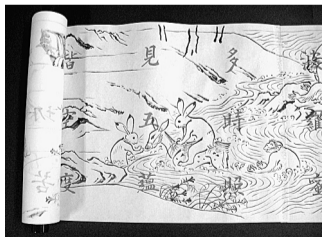
これからも地域に根ざしながら読み聞かせを続けていきたい、聞いてくれる人たちと一緒に楽しくなりたいと、熱意を持って活動しています。

● 学び続けることこそ生きがい ●

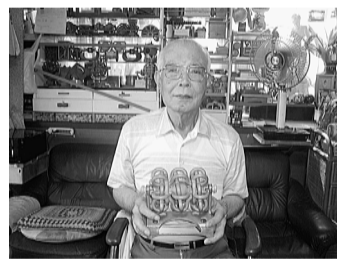


橋本 一春さん(84)

大森中にお住まいの橋本さんは昭和3年生まれ。高等小学校を卒業し14歳で就職しました。仕事のかたわらもっぱら独学で心理学や美術論、歴史、古典文学などを学んできました。こうして学び得た知識を活かして、多彩な分野での創作活動を行っています。鳥獣戯画の模写、般若心経の写経など、長いもので19メートルにもなる巻物は仕上げに至るまでほとんど手作りです。模写だけでなく、ご自分で詩を作り絵も描きます。若い頃から地元の三輪神社のお祭で青年会が演じる芝居の脚本を書いて演出するなど、遊び心たっぷりの粋人だったそうです。「お世話になった人々への恩返しのため作品を仕上げています」と話す橋本さんの次の目標は、般若心経の写経100巻達成です。



▲鳥獣戯画の模写



榮 文夫さん(87)

南雪谷にお住まいの榮さんは大正14年生まれ。長年、金属加工の仕事に携わっていましたが、60代になってから一刀彫を始め、それが唯一の趣味になりました。自分なりに図面を描き、サクラ・ケヤキ・ホウノキなどの木を掘り抜きます。彫刻刀も仕事で使った廃品の組やすりで研いで、自分で作ったものです。ご高齢になり、集中して木を彫ることは難しくなり、10年ほど前からトイレットペーパーやラップの芯などの廃品を利用して和紙工芸を始めました。地域の文化センターや小学校で、大人や子どもたちに作り方を教えることもあり、地域の人たちに喜ばれています。



▲一刀彫の作品

あなたの「学びたい」「始めてみたい」を応援します

社会教育課では「サークルを紹介してほしい」「講座に参加したい」「これまでの経験を活かしてボランティア活動をしたい」などのご相談を受け付けています。教育委員会に届け出のある約2,000余りの社会教育関係団体の情報や区内で行われる講座、催し物等の情報をお知らせしており、これらの情報は窓口で閲覧することもできます。

また、年に10回ほど区役所や地域の施設で「生涯学習相談会」を開催しておりますので、ぜひお越しください。

問合せ先 社会教育課社会教育担当 TEL 5744-1443 FAX 5744-1539

就学通知書を12月下旬にお送りします

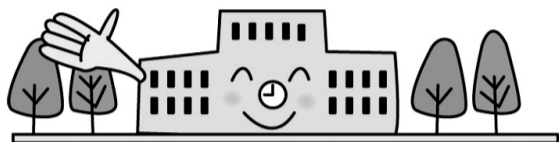
平成25年度大田区立小中学校への就学通知書は12月下旬に発送します。

大田区は「家庭、学校、地域」が一体となって地域の子どもを見守り育てるため、地域に根ざした学校づくりを目標とし、お住まいの住所地によって学校を定める指定校制度を採用しています（通学区域は区のホームページでご確認いただけます）。したがって、学校選択制ではありません。

ただし、指定校以外の学校を希望する相当の理由があり、かつ受け入れる学校に支障がない場合は、指定校変更申請により指定校以外の学校に入学することができます。申請にあたっては右記注意事項をご確認ください。

平成25年度新入学児童・生徒の指定校変更申請の一斉受付は、1月上旬に区役所本庁舎で行う予定です。日程等の詳細は就学通知書をご覧ください。

指定校変更での受入れを制限する学校については、区のホームページでは12月上旬から、大田区報では12月21日号でお知らせします。



【ご注意ください】

- 学校施設の収容規模などによって受入れが困難な場合は、理由の如何を問わず指定校変更を許可できないことがあります。
- 指定校変更希望者が受入れ枠を超えた場合は抽せんによって入学を決定することがあります。その場合、申請理由に優劣は設けません。
- 現在小学校1年生及び2年生は1学級を35人で編制しています。また、今後、他学年にも少人数学級化が拡大する可能性もあります。そのため学級数が増え教室数との関係で、指定校変更による受入れを制限する学校が増加すると見込まれます。
- 現在指定校変更で通学している小学校と通学区域が重なっている中学校へ入学を希望する場合でも、希望する中学校が指定校でない限りは指定校変更申請が必要です。
- 兄弟が指定校変更を許可されても、弟妹が入学するときに同様に指定校変更を許可されるとは限りません。指定校変更により兄弟姉妹が別の学校になってしまう可能性があることを踏まえて慎重にご検討ください。
- 私立学校等を受験予定であっても、区立であれば指定校以外に入学を希望する場合は、受験結果を待たず受付期間中に指定校変更申請を行ってください。
- 大田区外から大田区立小中学校に区域外就学することはできません。
- 住所を偽って就学通知書を受ける等不正な手続きで就学した事実が判明した場合は、入学後においても転校していただきます。

問合先 学務課学事係 TEL 5744-1429 FAX 5744-1536

郷土博物館特別展

「懐かし うつくし 貝細工」

会期 10月7日(日)～11月25日(日)

海に囲まれたわが国では、貝は身を食べるだけでなく貝殻も長きにわたり利用してきました。時代を遡ると、大森貝塚からは装身具の貝輪や、貝の紅血、鱗取りに使われたであろう貝刃などが出土しています。

貝殻は加工し易い素材であることに加え、多様な形や色彩の貝もあり、魅力のある工芸素材として使われ続けてきました。虹色に輝く貝片を漆工芸に用いた螺鈿は、優美な美術工芸品です。その螺鈿の陰で見落としされがちな細工物として、貝の形をとどめた様々な貝細工の存在があります。これまで注目される機会は少なかった江戸時代の貝細工の大見世物や、江戸から近現代にかけて観光地土産として親しまれた貝細工など、様々な貝細工の世界を紹介します。



長崎青貝細工
花鳥図ビューロー

かわせはすい

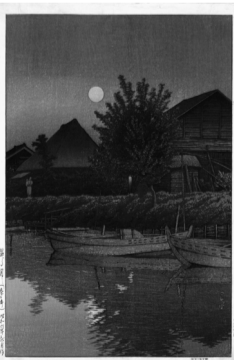
「馬込時代の川瀬巴水

—馬込生活が一番面白い時代でもあった—」展

会期 12月1日(土)～24日(祝・月)

川瀬巴水は、明治16(1883)年に生まれ、大正7年から版画制作の道に入り、生涯に約700点の版画作品を遺しています。大正15年以降は、戦争中に栃木県塩原へ疎開した以外は、現大田区内に居住しました。なかでも、昭和5年から19年までを過ごした現南馬込三丁目に建てた洋館づくりの家での生活は、「さほど豊かではなかったが、一番面白い時代でもあった」と巴水自身が述べています。

巴水は、来年(平成25年)5月18日に生誕130年を迎えます。これを記念して、郷土博物館では馬込時代の作品を約100点展示します。この時代は、既に版画絵師として日本のみならず世界的な名声を確立し、次々と作品を制作していました。最盛期ともいえる巴水の版画芸術をご覧ください。



川瀬巴水画「昇る月(森ヶ崎)」
昭和6年10月作 木版画

問合先 郷土博物館 TEL 3777-1070 FAX 3777-1283

スポーツ健康都市宣言記念事業

『第29回大田区区民スポーツまっりの開催』

今年度から「大田区区民スポーツまつり」は、6月30日の大田区総合体育館の開館にあわせて行われた「スポーツ健康都市宣言」の記念事業として開催します。

会場では区内スポーツ団体などの協力により、体力測定で自分の体をチェックしたり、さまざまなスポーツやレクリエーションを楽しむことができます。これを機会にいろいろなスポーツを体験してください。

プログラム、会場についての詳細は、大田区報9月21日号等でご案内するとともに、ホームページにも掲載しています。ご家族やお友達などお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

【主なスポーツ・レクリエーション】

- 空手、和弓、民踊、合気道、太極拳、氣功太極拳、武術太極拳、少林寺拳法、カンフー、テコンドー、ボクシング、ウェイトリフティング
- バトントフリング、レクダンス、エアロビクス
- トレーニングマシン体験、体力テスト・骨密度測定、健康増進相談
- バドミントン、バスケットボール、テニス、ソフトテニス、ミニテニス、卓球
- 水泳、アクアビクス、カヌー、ボート、投網体験、釣り
- タッチ&タグラグビー、グラウンドゴルフ、乗馬、陸上タイムトライアル、サッカー、ゲートボール
- フラッグフットボール、スポーツ吹矢、ビームライフル、インディアカ

▼日時：平成24年10月8日(月) 体育の日

▼会場：大田区総合体育館、大森スポーツセンター、大田スタジアム、多摩川緑地、区立小・中学校、民間スポーツ施設など

問合先：(財)大田区体育協会 TEL：5471-8787 FAX：5471-8789

問合先：社会教育課事業担当 TEL：5744-1441 FAX：5744-1539

ホームページ：http://www.city.ota.tokyo.jp/event/event_sports

教育委員会の主な議題

- 平成24年第6回定例会
- 大田区立伊豆高原学園の指定管理者の指定について
- 平成24年第8回定例会
- 学校教育法附則第9条の規定に基づく平成25年度特別支援学級使用教科用図書採択について

問合先 教育総務課庶務係 TEL 5744-1422 FAX 5744-1535

教育委員会定例会の開催予定日

- 日時 平成24年10月24日(水)
- 平成24年11月21日(水)
- 平成24年12月20日(木)
- 時間 午後2時から
- 場所 本庁舎6階教育委員会室
- ※予定が変更になる場合もあります。傍聴を希望される方は、あらかじめ下記までご確認ください。



▲大森スポーツセンター会場



▲大田スタジアム会場